^{令和5年度} 学校評価報告



自己評価結果

Plan - Do 全体計画と取組の具体-

◎学校教育目標 「人を大切にする学校」

◎目指す教師像

学び続ける教師

生徒の手本となり、行動に示せる教師

組織と役割を大切に、職場での輪を大切にできる教師

- ◎本年度の重点目標(池中生に育てたい資質・能力)
 - 1 自ら学び、自ら考える力の育成
 - 2 秩序ある学校生活の中で思いやりの心を育てる
 - 3 自ら判断し、自ら動ける生徒の育成
 - 4 生徒が主体となった教育活動の基盤づくり

Check 達成状況・取り組み状況やその適切さ------

学校生活全体については生徒、保護者の皆様共に、今年度も概ね満足との評価をいただいております。 今後も生徒一人一人が安心・安全に登校でき、生徒の学力の向上、社会性や主体性を育成する学校づくり を継続していく方向でおります。

以下は、生徒の学校評価アンケート集計を元に、本年度の重点目標1~3と「安心・安全な学校づくり」 の視点に沿っての見解です。

○…成果 ●…課題

<重点目標1 「自ら学び、自ら考える力の育成」 について >

・設問5「自ら学び、自ら考える力が高まった」

・設問6「発信したくなる課題が与えられている」

・設問7「情報活用の力」

・設問8「粘り強さの向上」

※肯定意見=「そう思う」・「少しそう思う」の合計

の肯定意見は94.6%

の肯定意見は85.3%

の肯定意見は92.1%

の肯定意見は92.1%

○週に1度各教科の教科会を設定し、担当同士で授業や評価について協議することが出来ました。また、 夏休み中の校内研修において昨年度に引き続き、教科ごとに横浜国立大学附属鎌倉中学校の先生方を招き、 現行の学習指導要領に準じた評価についての理解を深めたことが先生方の授業改善の意識につながりました

○「学びの主体が子どもになる授業を目指して ~個別最適な学びと協働的な学びの一体的な授業~」の テーマのもと、年5回の校内研究授業を実施し、教育委員会や外部講師の指導・助言をいただきながら、 研究を深め、その結果を生徒に還元することが出来ました。

●設問6の肯定的な回答のうち、34.4%の生徒が少しそう思うと回答をしています。肯定的と捉えることはできますが、そう思うと回答する生徒が少しでも増えるように授業者側の課題として、教材ときちんと向き合い、魅力ある授業づくりをしていく必要があると考えます。

<重点目標2 「秩序ある学校生活の中で思いやりの心を育てる」 について>

・設問9 「規則正しい生活」

の肯定意見は93.2%

・設問10 「正義が通る学校」

の肯定意見は92.5%

・設問 11 「思いやりの気持ち」

の肯定意見は96.0%

・設問 12 「相談のしやすさ」

の肯定意見は74.5%

○「規則正しい生活」では93.2%の生徒から肯定的な回答がありました。「4つの生活基本(あいさつ、時間、ルール、集中力)」を常に生徒に意識させながら、授業、日常の活動、行事等の様々な場面を取り組ませ、習慣として定着してきています。池上中学校の強みの一つとして今後も大切にしていきたい

と思います。

- ●「相談のしやすさ」については、74.5%の肯定的な回答の反面、25.5%の生徒が相談しにくいという否定的な回答でありました。普段からの声掛けなどを含め、今後の生徒への対応(接し方・話の聞き方など)の改善が急務と考えます。
- ○生徒の主体性を育成するための教員向け校内研修を計画的に実施し、生徒に還元することができました。

<重点目標3 「自ら判断し、自ら動ける生徒の育成」について>

・設問 13 「総合的な学習の取り組み」の肯定意見は90.3%・説問 14 「行事等への達成感・充実感」の肯定意見は86.0%・設問 15 「縦割りを通じたリーダーシップ」の肯定意見は85.0%・設問 16 「支えあい高めあう活動」の肯定意見は95.7%

○新型コロナウイルスの自粛から学校行事も概ね実施できたことによる満足度は高かったと感じています。「総合的な学習の時間」の取り組みを系統的に行い、池上中の学びのスタイルの構築を図り、学習効果を高めていきたいと思います。

- ○保護者の方に、これまで以上に生徒の活動を共有してもらう工夫をしていきます。
- ●生徒がより一層自己肯定感を感じられるような取り組みをしていきたいと思います。

<安心・安全な学校づくりについて>

・設問 18「安心・安全」
・設問 20「防災・防犯意識」
の肯定意見は92.5%
の肯定意見は95.4%

- ○日常の学級活動や行事等の取組を通して人間関係を育み、9割近くの生徒が学校生活を楽しく、安心 して過ごせています。
- ○電話や家庭訪問等で生徒の気になる様子を保護者と共有したり、生徒との普段の何気ない会話、担任と 生徒との一言日記等を通して、生徒の悩みや困っていることに周りの大人が気付き、早期に対応するケー スが多くありました。
- ●年3回防災訓練を実施し、非常時の避難方法の確認や防災意識を醸成することが出来ました。今年度については、自分の教室からの避難、部活動中の避難そして清掃活動中から避難を想定し、より実践的な避難訓練を行うことができました。有事の時に、地域で頼りにされる(活躍できる)池中生になれるよう防災教育に取り組んでいきます。

Action 今後へ向けての改善方策----

◎安心・安全な学校づくり

生徒の活動に必ず教師が付くことを原則に、生徒との信頼関係や生徒自身の成長、主体性を高めていくような取組を継続します。また、教育委員会と連携し施設の安全点検の継続と見通しを持った校舎改修を行います。

◎教員の授業力向上

「学びの主体が子どもになる授業を目指して ~個別最適な学びと協働的な学びの一体的な授業~」の研究テーマに則り取り組んだ授業の成果と課題を確認し、次年度の授業改善に活かします。

◎学習習慣の定着

各教科から、生徒が主体的に取り組むことができるよう、課題の提示で終わらず、取り組み方のアドバイスなどを提案する取り組みを行っていきます。

◎生徒の主体性育成の充実

丁寧に教える事から始め、出来たことを褒め、できなかったところは再度確認していきます。任せられるようになったところを徐々に任せていき、3年間かけて生徒の主体性を養っていきます。また、形だけでなくその理念をしっかりと継承していくために教員向けの研修も継続していきます。

◎規律・礼儀・しつけの徹底

池上中学校の強みの一つとして「きめ細やかな指導」があると考えます。学校生活全般を通して、生徒が社会に出た時に必要な基本的な生活習慣を身に付けられるように普段の取組を継続させていきます。

◎施設整備面について

横須賀市および本校では法令に則り、日常的な点検および定期的な検査を実施しています。多額の費用をかけて、横須賀市は第三者による業者点検を行っております。

- ①「建築基準法第12条第4項点検」内容:校舎筐体(特にコンクリートのヒビ、爆裂、タイルの浮き)、 屋根の破損や腐食、給水・排水設備、換気施設の風量検査、防火戸の動作、避難通路への物品放置な どの点検。今年度は7月、2月に実施。
- ②防災業者による消防設備点検、シャッター業者による防火シャッター点検。今年度は7月、2月に実施。
- ③専門業者による遊具点検(体育館の体育設備点検)。今年度は7月に実施。
- ④給水設備点検。今年度は8月に実施。

指摘された内容については、修繕をし、改善しております。

これら第三者の業者とは別に、月1回の全職員による教室や廊下などの安全点検を実施し、最も大切である「生徒の安全」を第一に考えて教育活動を行っています。

生徒の安全にかかわる施設修理の主なもの

- 防火設備関係修繕
- ・多目的室エアコン設置
- · A棟3F廊下側窓枠交換
- ・A棟体育館側トイレ蛇口交換

◎支援を要する生徒への総合的な対応と指導

学校自体や集団での活動が苦手だったり、登校自体が難しい生徒もおります。それぞれに多様で複雑な背景や要因があります。学校だけでは多様化する相談・支援についての対応が難しい場合も少なくありません。今後学校内においては更に、担任だけでなく校内の支援に関わる職員(登校支援相談員、学習支援員、スクールカウンセラー)や、校外の関係諸機関との連携をより強化する等、個に応じたきめ細かい対応を行っていきたいと考えます。

保護者の方からいただいたご質問について

・体操服(ジャージ)登校については、熱中症対策として実施していきます。開始時期につきましては、 その年の気候を鑑み対応していきます。

全体に係る記述は以上になります。アンケートのご協力ありがとうございました。